


令和5年度 地域おこし協力隊アドバイザープロフィール

ふりがな	あらい のぶあき			
氏名	新井 暢明			
所属・役職	富山県氷見市 企画政策部地域振興課 主査			
所在地	富山県			
略歴	<p>平成15年4月 氷見市役所 入庁 税務課、健康課、農林畜産課、福祉介護課に配属 令和2年10月 地域振興課 配属 令和3年4月 同課にて、地域おこし協力隊 担当</p>			
地域おこし協力隊に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<ul style="list-style-type: none"> ・協力隊受け入れ希望地域・団体の選定から募集要項の作成、採用試験の運用 ・中間支援組織(協力隊OB)と連携した、隊員活動のサポート(隊員との月末ミーティング及び定期的な個別面談の実施等) ・市主催の地域づくり講演会にて、隊員の活動報告を開催 ・おためし協力隊の実践 		
	これまでに関与した地域おこし協力隊に関するプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・呉西6市(高岡市、射水市、小矢部市、砺波市、南砺市、氷見市)の協力隊研修開催 		
助言可能な内容	○	募集企画の作成・魅力度の向上		任期終了後の支援
	○	受入体制づくり・受入の増強		都道府県OB・OGネットワークの推進
	○	市町村のサポート体制の強化		その他(詳細は以下に記載)
			情報発信の強化	
	△ おためし協力隊		「地域おこし協力隊インターン」等の活用推進	
自治体へのメッセージ	協力隊制度は自由度が高く、市町村によって受入れ体制は様々です。担当職員としてやりがいのある仕事の半面、運用に関して日々悩みながら取り組まれていることと思います。「地域おこし」の原点に立ち返り、自治体のカラーを活かした制度設計について共に考えていきましょう。			